

医学研究に関する情報公開および研究協力へのお願い

福井県済生会病院放射線科では、臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学研究を実施しています。こうした研究では、対象となる方に関して既に存在する試料や情報、あるいは今後の情報や記録などを調査しますが、対象となる方にとって新たな負担や制限が加わることは一切ありません。このような研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。ご自身の情報や試料を研究に使用してほしくないという場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」へご照会ください。研究への参加を希望されない場合、研究結果の公表前であれば、研究期間内にご連絡いただいた時点より対象から除外いたします。なお研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありませんのでご安心ください。

【研究課題名】本邦における悪性胸膜中皮腫への根治的トモセラピー治療：遡及的解析

【研究期間】福井県済生会病院 臨床研究審査委員会承認日～2年間

【研究の目的】本邦において、トモセラピーは主に前立腺癌、頭頸部癌においての使用が多く、その疾患頻度から悪性胸膜中皮腫の報告は乏しい。本邦でのトモセラピーによる悪性胸膜中皮腫の根治放射線治療の現状を解析し、現在の治療成績を評価することを目的とする。

【研究の内容】

1. 研究の対象となる方

悪性胸膜中皮腫の患者さんで、西暦2008年1月から2017年12月の間に当施設にて放射線治療を受けた方の中で、トモセラピーで根治的放射線治療を受けた方。

2. 研究に用いる試料・情報

年齢、性別、アスベスト暴露歴、病期、病理組織型、治療器、手術療法、残存の有無、放射線治療の詳細、化学療法、治療後評価、有害事象について 等

3. 研究の方法

研究に用いる情報は調査票として研究事務局から送付され、記入の上、郵送にて研究事務局に送付する。症例の放射線治療計画はDICOM-RTの形で電子記録媒体に匿名化のうえで複製し、研究事務局に送付する。

放射線治療計画は標的体積、線量分布を評価する。

各参加施設から得られた情報は匿名加工情報を用いる。背景因子、2年生存割合、2年局所再発、2年リンパ節転移割合または遠隔転移割合については Kaplan-Meier 法を用いて後視的解析を行う。また、実際の治療計画を匿名化し標的体積、線量分布を解析し、有害事象、再発率の比較を行う。

【共同研究機関及び研究責任者】

1. 研究代表施設および研究責任者

名古屋市立大学病院放射線科 村井太郎

2. 共同研究施設等およびその研究代表者

神戸低侵襲がん医療センター 放射線科 馬屋原博

水戸協同病院 放射線科 奥村敏之

がん・感染症センター都立駒込病院 放射線診療科 橋本慎平

湘南鎌倉総合病院 放射線科 大村素子

野崎徳洲会病院 放射線科 小泉雅彦

南部徳洲会病院 放射線科 眞鍋良彦
北福島医療センター 放射線治療センター 星野勝
木沢記念病院 放射線治療科 小川心一
日高病院 放射線科 大西真弘
北斗病院 放射線治療科 宮本顕彦
山梨大学医学部 放射線医学講座 大西洋
埼玉県立がんセンター 放射線治療科 工藤滋弘
古賀病院 21 放射線治療センター 大曲淳一
福井県済生会病院 放射線科 大橋静子
名古屋第二赤十字病院 放射線科 今井未来子
埼玉医科大学国際医療センター 呼吸器内科 毛利篤人

【当院における研究責任者】

福井県済生会病院 放射線科 大橋静子 職名：医長

【本研究に関する問い合わせ窓口】

○問い合わせ窓口

〒918-8503

福井県福井市和田中町舟橋 7-1 福井県済生会病院 放射線科 大橋静子

電話：0776-23-1111（代表）